

ファイナルレポート

国際セラミックス・粉末冶金技術・イノベーション・原材料専門見本市
2024年4月9日～12日

2024年4月12日

ceramitec 2024 :ほかに代わりのないビジネスの要の場

Summary

- 36カ国から466社が出展
- 84カ国から13,000人を超える来場者(前回比30%増)
- 国外からの来場者は57%
- 資源効率、ゼロ・エミッション、デジタル化に重点



Facts & Data

会期	2024年4月9日(火)～12日(金) 午前9時～午後6時(最終日のみ午後4時)
会場	メッセ・ミュンヘン
主催	Messe München GmbH -メッセ・ミュンヘン
規模	33,000 m ² (2022年:30,000 m ²)
出展企業	36カ国から466社(2022年:32カ国から340社)
来場者総数	84カ国から13,000人(2022年84カ国から10,000人)
主な出展品	原料、添加剤、資材、付属品、保管・貯蔵、運搬、計量、粉碎、製粉、評価、選別、混合、成形、施釉、装飾、表面処理、熱処理、測定、制御、分析・ラボ機器、プラント建設、除塵、フィルタリング、包装・梱包、オートメーション、工具、予備・交換部品、環境保護、工業用セラミックス、コンポーネント・サービス、研究、学術・業界専門媒体・協会・団体など
併催プログラム	Conference Program、Guides Tours、Career Day ほか
出展日本企業	UBE(株)、(株)エスケーファイン、住友化学(株)、日本電産シンポ(株)、東ソー(株)、(株)トップ精工 ほか
専用URL	www.ceramitec.de (英語/ドイツ語)

466 – 33,000 – 13,000、これらは、2024 年 4 月 9 日から 12 日まで、ミュンヘン見本市会場で開催された ceramitec の主要な数値を示している。36 力国から出展者 466 社 (2022 年は 32 力国から 340 社)が、3 つのホールの合計 33,000 平方メートルの会場で、新製品、革新技術、イノベーションを紹介した。セラミックス業界を代表するこの国際見本市には、世界の 84 力国から 13,000 人を超える来場者(2022 年は 84 力国から約 10,000 人)があり、ドイツ国外からの来場者は今年も非常に多かった。

メッセ・ミュンヘンのエグゼクティブ・ディレクター Collin Davis は、「来場者の 57%、出展者の 65% がドイツ国外からの参加という高い国際性が示す ceramitec は、セラミックス業界全体にとって重要であることの証と言える。デジタル化からゼロ・エミッション、脱炭素化、資源効率化、そしてセラミック・ソリューションの新たな応用に至るまでの業界を牽引する重要なトピックを、会場内全フロアで、そしてカンファレンス・プログラムを通して目にすることができた」と、喜びを語る。

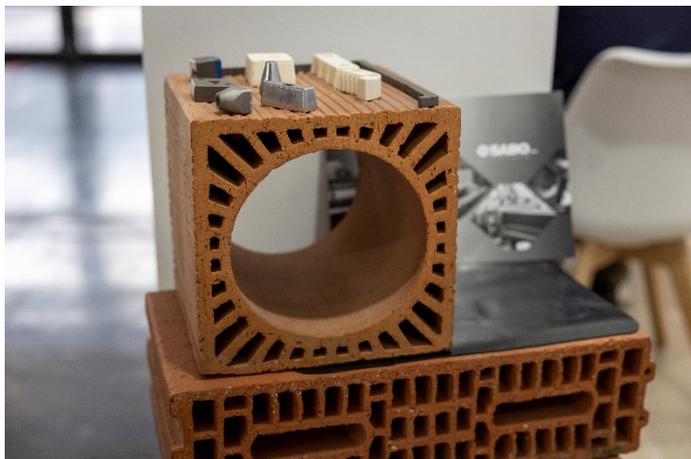


ceramitec – 数々の世界初が披露されている素晴らしいイベント

Netzsch-Gerätebau 社のマネージング・ディレクターで、ceramitec Advisory Board の会長である Jürgen Blumm 氏は、「ceramitec 2024 は大成功であった。2022 年の前回イベントと比べて、来場者は大幅に増加し、多くの新しいコンタクトができた。出展企業は、今年は特に、自動化、持続可能性、エネルギー効率の分野におけるイノベーションの紹介に力を入れていた。全体的として、多くのワールドプレミアの紹介や出展企業の発展を見ることができた。その上、多くの熱心な来場者に囲まれて、素晴らしいイベントであった」と語る。

Maschinenfabrik Gustav Eirich 社の社長 Stephan Eirich 氏は、「ceramitec2024 は、ミュンヘンを再びセラミック産業の世界の中心地にした。多数の意思決定者や専門家が参加し、業界が直面する課題と好機について深い洞察を示した。その結果、技術的ソリューションやイノベーションに対する真の関心を鮮明にした建設的な話し合いにつながった」と意を強める。

ceramitec – 質の高い対話の場



Nabaltec AG 社の CEO Johannes Heckmann 氏は、「我々にとっては、ceramitec は耐火物とセラミックの業界がヨーロッパで一堂に会する絶好の見本市であり、いつもながら、エキスパートの人たちと非常に質の高い議論ができる」と、満足の意を表した。Dorst Technologies 社の副マネージング・ディレクターである Christian Müller 氏も同調して、「今回最良の収穫は、多くお客様と本当に協力的で質の高い話し合いができたことである。」

ceramitec は、私たちに『伝統』と『変化』の両方を具体的に示してくれた」と続けた。そして、Riedhammer 社のマネージング・ディレクター Matthias Uhl 氏は、「品質に関する議論や顧客との対話は、新しいアイデアを生み出すことと同様に、私たちにとって非常に重要である。陶芸家の『ファミリー』は、お互いをよく知り、お互いを高く評価している。その結果、ここでは普段どおりでない会話も生まれる。それが ceramitec の本質であろう。そこに一歩足を踏み入れると、まるで自分の家に居るようにくつろげる」と付け加えた。

ceramitec – 多面的なプラットフォーム

「当社にとって、ceramitec は世界市場拡大への大きな一歩だ」と、He-Pro 社のマネージング・ディレクター Hakan Baykoz 氏が言うように、新しい市場で自社を紹介するにしても、既存の顧客と会うにしても、出展者が ceramitec に参加する理由はたくさんある。そして、Sabo 社のコマーシャル ディレクター Giorgos Koukas 氏は、「ceramitec は、我々の業界にとっても、当社にとっても非常に重要なプラットフォームであり、当社は、ceramitec を顧客や業界との重要なコミュニケーション・チャンネルとして重視している」と強調する。



ceramitec –ほかに代替手段は見当たらない

Inmatec Technologies 社のマネージング・ディレクター Moritz von Witzleben 氏は、今年の感想を要約して、「私たちにとって、ceramitec は業界のハイライトであり、最も重要な見本市である。これに代わるものはほかにない」と括る。Tecnofiliere 社の社長兼 CEO Paolo Pedrielli 氏は、「今回も、新規の潜在顧客と出会い、既存顧客との関係も新たに作る機会に恵まれた。ceramitec が、次回 2 年後の 2026 年にミュンヘンに戻ってくることを楽しみにしている」と期待する。

次回の ceramitec は、2026 年 3 月 24 日(火)から 26 日(木)まで、ミュンヘン見本市会場で、ラボ・テクノロジー、分析、バイオテクノロジーの世界的見本市である analytica と併行開催される。

ceramitec 詳細情報はこちらまで: <http://www.ceramitec.de>

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社 メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)